

「キレイの力」プロジェクト 2020年度 活動報告書



N P O 法人 キャンサーリボンズ

2019年度ウィッグ・サポーター活動 実施報告

<実施概要>

2019年10月～12月にかけて全国の看護学校10校にて説明会を実施。

996名の看護学校に対して、プロジェクト紹介とウィッグサポーターへの呼びかけを行い、最終57名がサポーター活動を通じヘッドネーションを行いました。

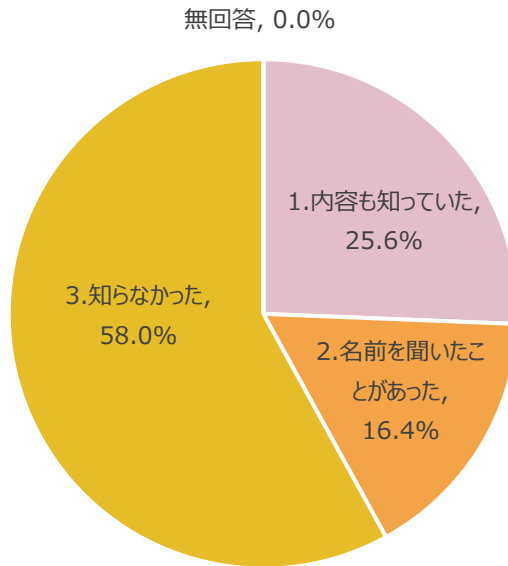
パンテーン製品は説明会参加者へ配布、サポーター活動参加者には1月、4月の2回に分けて配布を行いました。

<説明会実施日・実施校>

2019年 説明会日程	学校名	2019年 説明会人数
10月16日(水)	東都大学	120名
10月25日(金)	昭和大学医学部附属看護専門学校	156名
10月29日(火)	深谷大里看護専門学校	50名
11月20日(水)	横浜実践看護専門学校	90名
11月21日(木)	藤田医科大学看護専門学校	78名
11月28日(木)	国立病院機構岡山医療センター附属 岡山看護助産学校	103名
12月4日(水)	東京純心大学看護学部	60名
12月10日(火)	和洋女子大学 看護学科	110名
12月18日(水)	聖マリアンナ医科大学看護専門学校	87名
12月20日(金)	岩国医療センター附属岩国看護学校	142名
合計	10校	996名

(1) 説明会の前に「キレイのカ」プロジェクトをご存知でしたか？

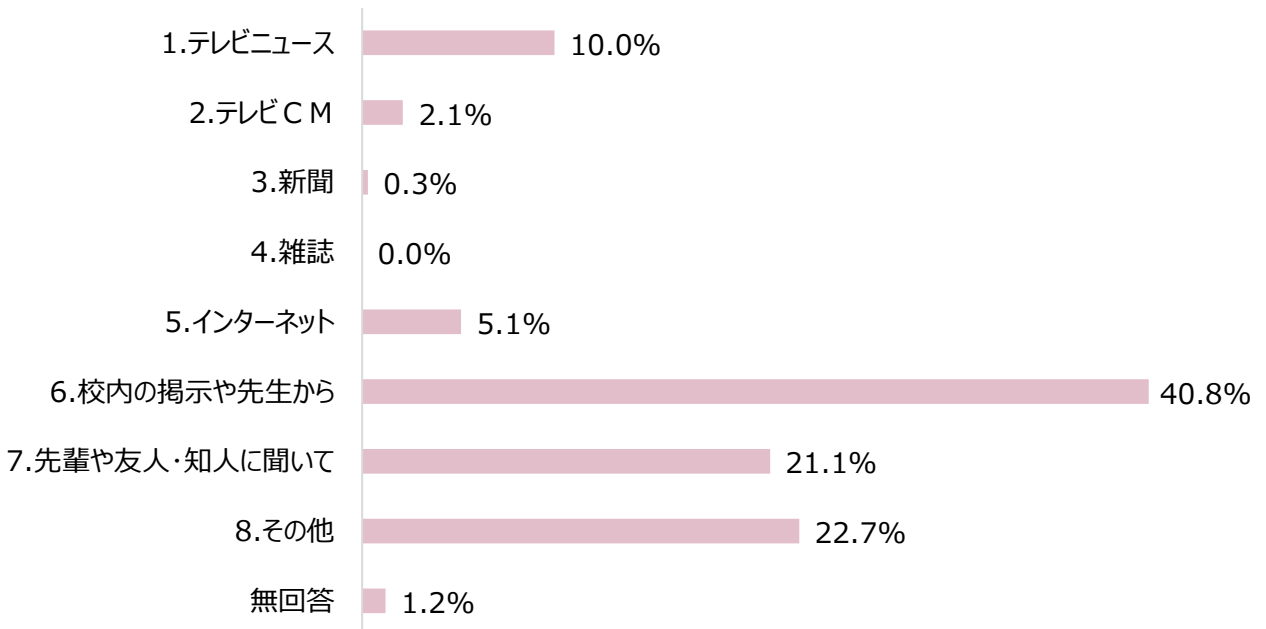
N=827



(2) 「キレイのカ」プロジェクトをどこで知りましたか？（複数回答可）

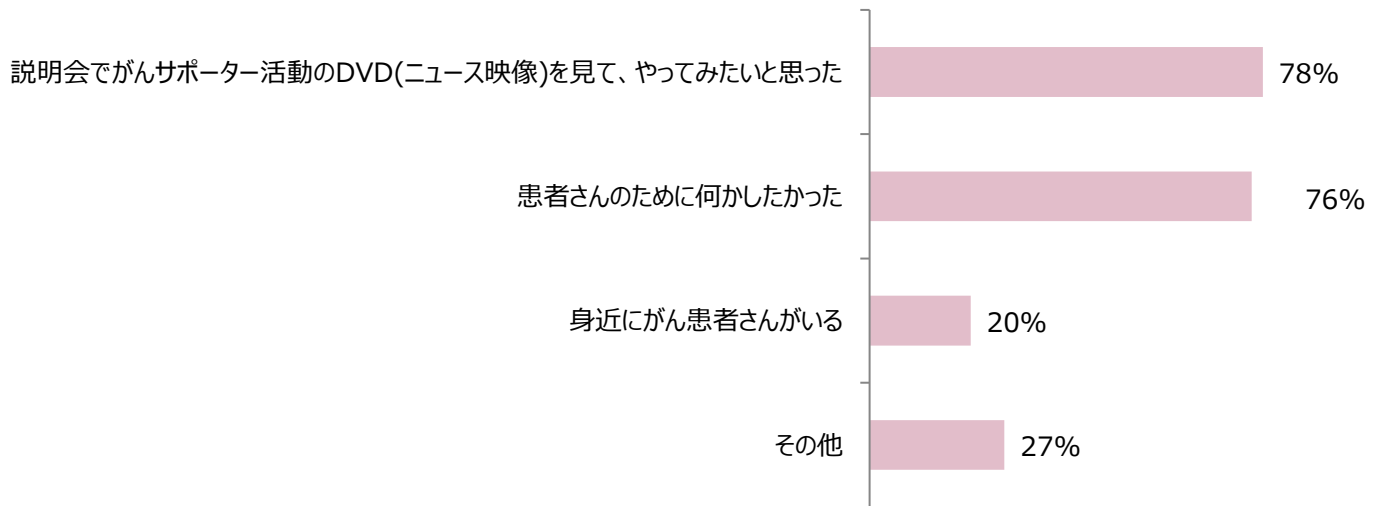
N=324

※キレイのカプロジェクトをご存知の方への問



[その他の内容]
 ・以前の説明会(63)
 ・学校(5)
 ・講義(3)
 ・家族がしていた
 ・姉から聞いていた
 ・美容室

Q.サポーターとして参加した理由 (複数回答可) N=45



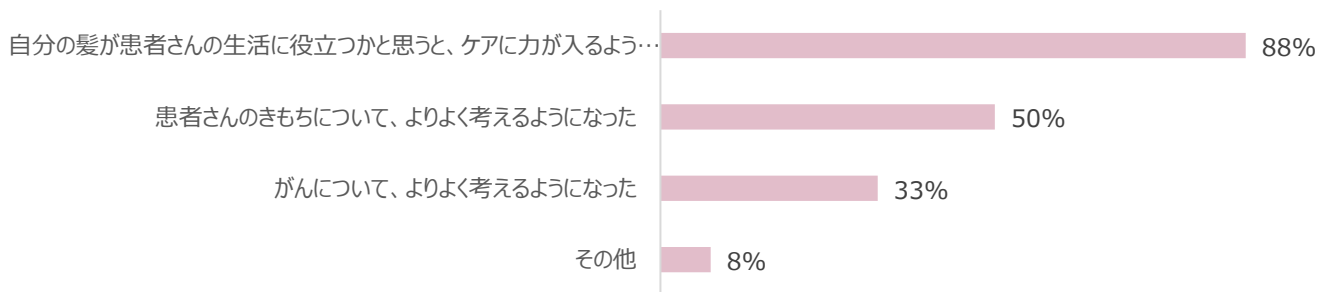
(自由回答) Q1.サポーター参加理由

- ・学校で説明会の時
- ・実習では患者さんに負担をかけるばかりだけど、髪を寄付することで少しは恩返しができるかなと思ったから
- ・誰かを笑顔にしたい、人の役に立ちたい
- ・今の自分にできることだと感じたため
- ・1年生の頃に説明会に参加したのですが、1月に成人式があったためプロジェクトに参加することができませんでした。そのため成人式が終わった今年参加しようと思いました
- ・以前、ヘアドネーションをしたことがあるから
- ・去年も参加したから
- ・以前やろうと思ったら出来なかったため
- ・身近でがんで亡くなった方が多くいて、がん患者さんのために何かできることはないかとずっと思っていたため申し込みました
- ・同じ年齢で白血病と闘っている池江璃花子さんの姿に心を動かされ自分も誰かの為に少しでも力になりたいと思っていたため
- ・条件があることや、少しでもあると良いということを知ってもしかしたら役に立てることがあるかもしれないと思った
- ・ヘアドネーションをしたいと思っていた

Q.「がん」について思うこと (回答のあったもの)

- ・いつ、がんになるかわからないけど、治療によって身体に影響がでてしまう。
 - ・祖父ががんになりどんどん姿が変わっていくのがとてもつらかった。
 - ・意外と身近なもの。本人が一番大変だけど家族も意外と大変。がんなんてなくなればいいのって心から思う。
 - ・がんは、だれでもなる可能性があるものなので、怖いと思います。
 - ・がんと伝えられた時から、身体・精神・社会的な辛さと戦わなければならない。治療可能と解つても、手術によるボディイメージの変化だったり、抗がん剤の副作用に対する恐怖が伴う。特に女性では、脱毛による見た目の変化を気にかけてることが多く、ウィッグという形での精神的援助の需要はすごく高いと思う。
 - ・抗がん剤治療が辛い。副作用で髪が抜けたり、嘔吐、倦怠感がある。
-
- ・がん治療で髪をなくしてしまうのは精神的にとっても辛いことだと思った。治療を頑張っている人の役に立ちたいと思いました。
-
- ・身体的のみでなく、精神的・社会的にも大きなダメージがあり、闘病や共に生きていっしょの方は本当に素晴らしいと尊敬しています。
 - ・人生が大きく変わるもので、一人で抱えるにはあまりにも大きい問題だと思っています。
 - ・「がん = 死」ではなく「共に生きる」時代である。つまり共に生きていくために、周囲の人が支えていく必要があると思います。私も支えることができる人になりたいです。
 - ・精神的に治療や身体面などから辛いです。私は看護師を目指している学生ですが、実習で関わらせていただいた患者さんやがん患者さんである身内から、病気のことや言葉にできない辛さがあることを私なりに学び、そして今も学ばせて頂いています。1ミリでもほんの少しでも力になりたいという思いです。
-
- ・「がん」であることだけに目を向けた生活より、自分の大切なものに目が向けられる毎日が送れるようにサポートしたい。
 - ・怖い病気だと思う。治療を終えた後も日常生活に影響がでるのではないかと思う。
 - ・日本の死因の第一位でもあるがんは、自分とは関係のないことだと私達(若年)の年代は考えがちであると思う。がんにはたくさんの種類があり、転移もしやすいためとても怖い病気という印象がある。
 - ・ボディイメージの変化についていくのが女性がなやむポイントだと思う。
 - ・怖い。辛くて重くて大変。
-
- ・身体的にも精神的にもつらいと思う。できていたことができなくなってくる苦しさがあると思う。少しでも気持ちが楽になればいいなと思います。
 - ・がんの治療の副作用により髪の毛が抜けたり、吐き気がおこる、また感染リスクがあがる。
 - ・2人に1人が罹患し、3人に1人ががんで死亡しているため、決して他人事ではないなと思う。
 - ・辛いことが多く、治療が大変。その辛さを少しでも楽にできるようなお手伝いができればいいなと思います。
 - ・たくさんのがんの方に幸せになってほしい。
 - ・様々な人の話を聞いて、治療だけでもつらいのにさらに外見や人間関係も変化していくことの辛さを知りました。不安で悩みが多い患者さんが、少しでも明るい気持ちになれば素敵なことだと思っています。
 - ・今日本の2人に1人の確率でがんになっているため、皆にはもっと身近に感じてほしいと思った。
 - ・完治までの道のりは長いし、辛いと思う。
-
- ・がんは身体的・精神的にもつらい病気であり、少しでも心だけでも安らげば良いと思い、貢献していきたいと考えている。
 - ・祖母と友人のお母様ががんで亡くなりました。2人に1人ががんになる時代だときき、他人事ではないんだな…と思いました。自分や家族ががんにならぬよう、しっかりと検診をしていきたいです。
-
- ・がんと生きる、治療しながら生きていくには、私たちにはわからないぐらいの不安や悩み、絶望感さえも感じていることだと思います。その中で前向きに生きることを決められた方々のサポートに携われる貴重で限られた機会であると感じました。
 - ・身体的にも精神的にも辛い。家族や友人、医療関係者みんなで闘う。
-
- ・「がん = 髪が抜ける」というイメージをお持ちで治療を前向きに考えられない患者さんが沢山いることを聞きました。そういった患者さんに心のケアも含めたこのプロジェクトがあることを知ってもらって治療に対して前向きになってほしいと思っています。
 - ・治療が長期にわたるもの。その治療が辛いもの。
 - ・科学療法で、髪の毛がなくなるのは嫌なことだし特に女性は髪の毛がないとダメージが大きいと思います。そのような人のために少しでも力になってあげたいと思います。
 - ・友人で乳がんや子宮頸がんになり、抗がん剤で髪の毛が抜け、ウィッグをつける様子を話で伺っています。その際、ウィッグは必要不可欠で少しでも質の良いものを使用して頂きたい。がんはなった方にしかわからない苦しい思いや痛みがあるが、色々な形で少しでも支えとなっていけたらと思う。
 - ・人生の中で一番つらく苦しく不安にさせられてしまうものだと思う。死が身近に感じるのは怖いと思う。
 - ・がんを受け入れて治療を行うしかない。人生の危機。
 - ・身体的にも精神的にも苦痛が伴うものであり、完治かどうか分からないものもあるため、怖いと思う。
 - ・辛そう、しんどそうとマイナスな方を考えてしまう。
 - ・1人では乗り越えることは出来ないで、少しでも支えになりたいと思っています。
 - ・がんに関わっている患者さんのために何かできることをしたい。
 - ・女性にとって抗がん剤治療で髪が抜けてしまうというのは、心的ダメージが大きいと考えます。辛い闘病生活を乗り越える為にウィッグが少しでもがん患者様の力になることをお祈りします。
 - ・がんは自分の身体の細胞ががん化してしまうことで起こってしまう病気と知りました。長期間の治療で身体だけでなく精神的にも負担が大きい中、周囲のサポートがどのような助けに繋がるのか考えさせられました。
 - ・身体的にも精神的にもとても辛いもの。

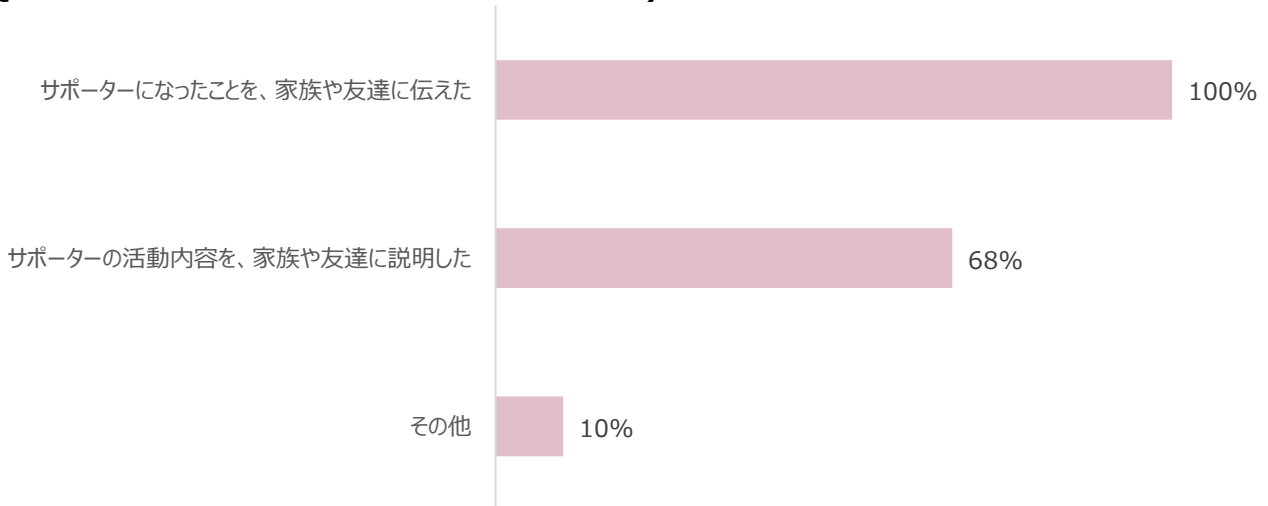
Q.サポーターになってからのお気持ちについて（複数回答可） N=40



(自由回答)

- ・以前に比べて髪への扱い方が丁寧になった
- ・早くお届けしたい！
- ・髪の毛ができるだけ伸びた状態で切りたいと思っています
- ・髪の毛をきちんと手入れするようになった 患者さんのことを思うと頑張れる

Q.サポーターになってからの行動について（複数回答可） N=40



(自由回答)

- ・ゼミの分野をがん看護にしました もっとがんについて学んでいきたいと思います
- ・友人にもやらないかと誘ってみた
- ・ヘアドネーションの活動があることを、髪を切る友人にすすめた
- ・家族も協力している。看護学生でも参加できるのであれば行いたい

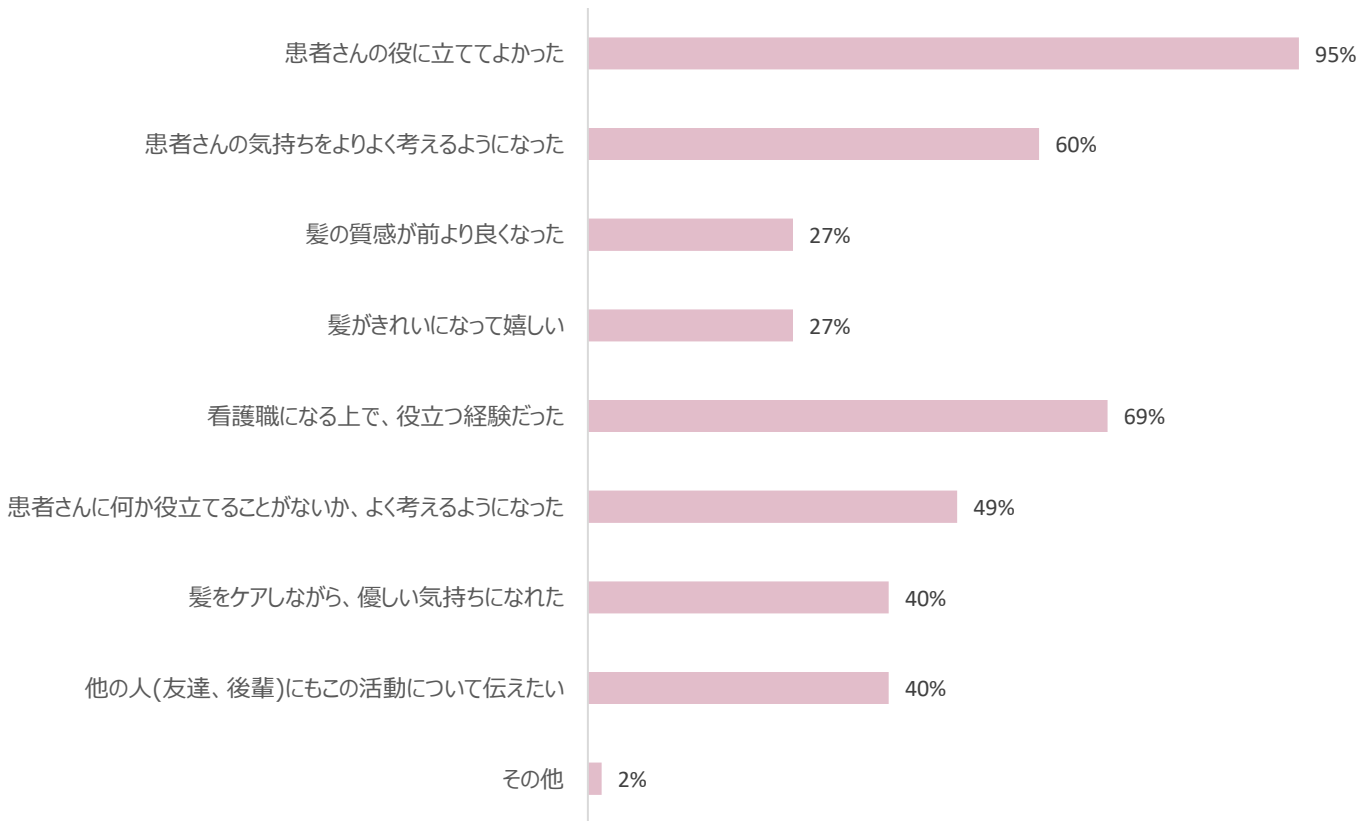
Q.「看護職」という職業について気持ちの変化 (回答のあったもの)

- ・患者さんやいろんな立場になった人の気持ちを考えるようになった
- ・「誰かの役に立つ」という職業ですが、こんなにも“誰”というのが明確にある職業は看護職でしかないなと感じております
- ・まだ具体的な気持ちの変化はないが実習でがん患者さんと関わる機会があればあると思う
- ・看護職は病院や施設で働くイメージが強く、活動していると考えていましたが施設のみに限らず、人のため、誰かのために何かしてあげたいという思いが一番看護職に必要なことなのだと思います
- ・まだまだ患者さんと向き合う時はなかなかないですが、ウィッグサポーターとなることで違う面からも何か力になれるのかなと思う
- ・患者さんの気持ちに寄り添うということについて、よく考えるようになりました
- ・がん患者のことを良く考えるようになりました
- ・小さなことでも力になれることが嬉しいです
- ・抗がん剤治療で苦しむ患者さんに寄り添いたい気持ちが増した
- ・他人のために行動するということを考えるきっかけになりました
- ・患者さんの気持ちを少しでも多く考えられるようになった
- ・「がんに」について興味を持つようになった
- ・がん患者の辛さというものを活動を通して考えることがあり、看護師としてどういう言葉をかけなくてはいけないのかを深く思うことがある
- ・こういう形でも人の役に立てることを知れてうれしい！
- ・看護師として患者さんにとって何が一番必要なのかをより考えるようになった
- ・髪が伸びるにつれて患者さんの気持ちやがんについて考えることができる看護職を素晴らしいという気持ちが増した
- ・患者さんはどんな気持ちで治療をうけているのだろうと考えるようになった
- ・将来看護職という職業につくことによって色々な場面で患者さんの役に立つことができるのだろうと改めて感じた
- ・看護師になる前から、ちょっとした行動で人の役に役に立つことができる
- ・何か一つでも自分にできることがあって、それが患者さんのためになるのであれば、一生懸命やろうという気持ちになった
- ・専門的なケアだけでなく、ウィッグを作るなど小さな行動が患者さんの気持ちを明るくしたり前向きにしたりすることにつながると分かり、自分が今できることは何かを考えるようになった
- ・身体だけでなく、心も健康になってもらえるように努めることが大切であると思うようになりました
- ・学生として学ぶことが中心でしたが、今は患者さんの気持ちに寄り添える看護観をもつことができたと思う
- ・患者さんに寄り添っていきたいという思いが強くなった
- ・治療により、外見が変化することで社会進出の難しさについてより深く感じた
- ・勉強していく中で、今は2人に1人がなる病気で罹患する可能性は高いと感じるが、実習で感じたことは程度も様々だが本当に病気も治療も肉体的にも精神的にも辛い病気であると実感した
- ・患者さんのことを思って行動することは看護師の基本的な行動かなと思いました
- ・前より、患者さんのことを親身に考える看護師になりたいと思うようになった
- ・日頃できることで、患者さんの役に立てたり、勇気づけることができるのだと分かった
- ・学生の立場では、ボランティアなどでしか患者さんと触れ合えないが、看護師（職）についたら今よりも直接的に関わることができるという考えになりました。早く就きたいと思いました
- ・実際に患者さんの役に立つ実感が少しずつ湧いてきた。看護学生として、今回も参加しているが、看護師として参加したい気持ちが出てきた、患者さんに与える影響もあるため、髪の毛は大切にしたいと考えた
- ・実習で患者さんに接し、なにか考えが変わるのではないかと考えています。しかし現在実習に行けていないため、正直看護職について考えの変化はありません
- ・看護職という職業での患者さんの心身のケアはとても大切だと改めて思いました

Q.社会貢献について気持ちの変化 (回答のあったもの)

- ・少しでも役に立てることがあったら行いたい
- ・自分がこのプロジェクトに参加できていることがとても光栄であるなと思いました。もっと自分がしていることに胸を張っていたいなと思います
- ・少しでも誰かのためになりたいという気持ちが変わらずある
- ・今、コロナ過にある中、誰かが何かを待つのではなく、自分が何か行動し、より良い変化が起きたり起こるためのきっかけを作ることが社会貢献ではないかと考えています。プロジェクトに参加し、受け身な自身から主体的な自分にも変化してきたのではないかと感じています。
- ・誰かの役に立つことができると思う度にとっても嬉しく、温かい気持ちになります。この気持ちを日々感じて、他にももっと社会貢献したいと思うようになりました
- ・自分のこの活動が社会貢献になるのは嬉しく思います
- ・力になれるのなら小さいことから少しずつ手伝えたらと思います
- ・学生でもこういった活動参加することで社会貢献ができることを知るいい機会になった
- ・少しでも、ウィッグを待ってる人達の力になりたいと思った
- ・少しでもボランティアなどに行こうと思うようになった
- ・自分の髪がのちに患者さんの髪になると思うと手入れしなければ、と思うようになった
- ・自分が理解できる活動には耳を傾けようと感じた
- ・他にどのようなボランティア (今回のような寄付等) があるか興味が湧いた
- ・どんな小さなことでも誰かの役に立てることで自分ができることならしていきたい
- ・人の役に立てることが楽しみになった。人のことを思うことで自分自身のことも大切にしようと思改めて思うことができた
- ・まだ学生ではあるけれど、人の役に立つことのできる活動ができて、自分の自信になった
- ・髪を提供するちょっとした行動が誰かにとって役立つことが嬉しく感じます
- ・自分の髪で誰かが助かるならという気持ちが生まれた
- ・自分で考えるほど難しいことではないので、積極的に自分のできる範囲で参加しようと思った
- ・献血などできることからやっ行って行こうと考えるようになった
- ・普段生活する中でも簡単にできることがあると分かり、小さなことでもやってみようという気持ちになった
- ・直接関わらなくても誰かの役に立てることがあるのだと思うようになった
- ・今までは授業で終了していたが、どんな人がいて何で苦しんでいるのかななどを考えるようになった
- ・これからもできることはやっていきたいと思った
- ・今の自分でも参加できるようなボランティアや活動が誰かの支えになるのならば積極的に参加したいと感じた
- ・このような形で支援させていただけるのなら是非参加したいという気持ち。髪を伸ばすのも大切にすることも取り方によっては苦になってしまうのではないかと考えた
- ・学生でも髪の毛を提供することで闘病している方の役に立てると思いました
- ・他にも自分にできることがあればしてみたいと思うようになった
- ・役に立たないものと思っているものでも役に立つことが分かった。小さなことから社会に支援していきたいと思った
- ・より一層社会に貢献したいと思った。何か自分にできることはないかと探すようになりました
- ・様々な社会貢献がある中で看護学生のみという規定があるため、自分にもできることがあると嬉しい気持ちになりました。他の社会貢献にも参加してみたいと思うようになりました
- ・今までボランティアなどの社会貢献をしてきました。しかし誰かの力になっていると実感することはありませんでした。ですが、今回の活動で自分の髪の毛を提供することで、がん患者さんの力になれる。提供した後にそのことを実感できたら、今まで以上に社会貢献の素晴らしさを感じると今考えています。
- ・自分が何かをすることで(動く)、誰かの役に立てるのだろうと思うと、社会貢献は良いものだと思いました
- ・社会貢献について特に関心がなかったが、手軽に社会貢献に取り組めることを知った。自分の髪の毛を寄付することによって、がん患者である人が笑顔になれば、髪の毛を渡すことに後悔はない。もっとキレイのカプロジェクトを知ってほしい

Q.活動を終えた気持ち (複数回答可) N = 55



Q.サポーター活動を振り返っての感想（回答のあったもの）

- ・患者さんのことをより考えるきっかけとなりました。自分のこの活動で少しでも笑顔になれる人が増えれば嬉しく思います
- ・少しでも患者さんの役に立てれば良いなと思い参加させていただきました。活動中に髪質が変化していくことを嬉しく思いつつ患者さんのためにとヘアケアに気を遣うことができました
- ・はじめはとても興味が有り、先輩の発表を聞き改めて意味や活動に対して興味をもちました
- ・髪が軽くなってよかったと思う。またこの髪が患者さんの役に立ってくれるならと考えると参加してよかった
- ・切って捨てる髪が、患者さんの笑顔になるならと思い活動をしてきて、気持ちは変わることはなかった
- ・困ってる人へのアドバイスになればと思ってます
- ・なんとなくで始めたが、終わる頃は患者さんのウィッグの一部になると思うとやってよかったと思った
- ・活動を終えて、自分の髪が誰かの役に立つのだと実感がわいてきて嬉しく思う
- ・活動を始めるときは、髪を切りたいと思っていたし、人の役に立てるなら一石二鳥だと思い初めました。人のためを思うとケアを念入りに行えました。髪を切る前は、ちょっとさみしくなって髪の毛も体の一部になっていたんだなと実感しましたが、切ったあとは、誰かのものとして使ってもらえるならと思うと、とても嬉しい気持ちになりました
- ・患者さんの力になれるならと思い、嬉しかったです。また、どんな看護師になりたいかを考えるきっかけになりました
- ・ヘアドネーションをやってみようとしてサポーター活動を始め、ケアをしつつ髪を伸ばし髪を切ったという一連の流れでしたが、人のために何かしてあげたいという気持ちが形となって良かったと感じています
- ・このような形でも誰かの役立つことができると知り、嬉しかった。誰かを思い、髪の手入れをすることで、私自身も優しい気持ちになれた
- ・最初は自分の髪の毛を1本程伸ばせるか、カラーリングしたい気持ちは〜と心配なこともあったのですが、患者さんの役に少しでも立てるのなら又、良い経験になると思い、日々患者さんことを考えながらケアにはげました。切った髪を見て、頑張ってたかったと思いました。良い経験ができたこと感謝いたします
- ・寄付をする髪だから…と念入りにケアした。寄付できるくらい伸ばすことができてよかった
- ・少し気になると思いやってみました。だんだんと患者さんの役に立てたらいいなという気持ちが強くなり、参加してよかったと思いました
- ・がん患者さんの治療意欲の向上のために行おうと考えた
- ・サポーター活動を知ってから髪を切るまであっという間でした。患者さんの役に立てたら嬉しいです
- ・成人式前で髪を短くすることに迷いがあったが、自分が髪を切ることで誰かが外出を楽しめたりすることも知りヘアドネーションに参加したいと思った
- ・今まであまり髪を伸ばしてこなかったため、髪の手入れは大変だったが、誰かの役に立てると思うとあたたかい気持ちになれました
- ・私の身近に闘病中の家族がいて、抗がん剤の副作用で髪の毛がなくなって、ウィッグを使っていました。辛い思いをしている人の役に立ちたいと思いプロジェクトに参加しました
- ・ケアしてきた髪の毛が患者さんに役立てると思うととても嬉しかった
- ・人の役に立てることを少しでも出来るのはとてもうれしいと感じた
- ・始める前は、興味本位に近い気持ちだったが、日が経つにつれて、「自分の髪が誰かの役に立つ」という実感が増えてきた。とてもいい経験になった。
- ・成人式のために髪を伸ばし始めましたが、成人式後は患者さんの気持ちを考えながら、髪をケアすることができ、患者さんの役に少しでも立てることができて嬉しいです

Q.サポーター活動を振り返っての感想（回答のあったもの）

- ・自分の髪が役に立つんだと思いながら伸ばしていた
- ・始めは自分にしっかり管理できるか、自分の髪質で良いのか迷ったが、何かしたいという思いがありやって良かったと思う
- ・高校生の頃、この活動を知り、ずっと参加したいと思い続けていたが、少しでも患者さんの力になれたと思うと嬉しいです
- ・活動している間はあまり実感はなかったが、実際にカットしてこの髪がウィッグになると考えた時に参加してよかったと思いました
- ・自分の髪が誰かのためになるというだけで頑張ることができました
- ・まだ学生の自分でも役に立てることがあることを知ってやってみようと思った
- ・まだ学生である私でも、患者さんの役に立てたと思うと嬉しい気持ちになりました
- ・病棟での実習以外で患者さんの役に立つことができ良かったです
- ・元々ずばらで髪のケアはあまり行っていなかったが、この愛を受けとる患者さんのことを考えると自然とケアすることが習慣付いた
- ・治療を頑張っている患者さんのために私に何かできないかと思っていた時にキレイのカプロジェクトを知りました。日々のケア(髪)を行い提供することで喜んでくれる人がいると思うと頑張れました
- ・なんとなく始めた活動でしたが「患者さんのために！」と思い、普段やっていなかった髪のケアを意識して行うようになりました。患者さんのためにも、自分のためにも良い経験になりました
- ・髪の毛を提供するだけで、誰かの笑顔につながると思ったら面倒なヘアケアも行うことができ人の役に立つことの幸せを感じました
- ・活動中は髪切れない、などの思いが強く時々大変なこともありましたが、終わってみると達成感がありやってよかったと思いました
- ・活動を始める時は、家族や友人にプロジェクトに参加していることを伝えて嬉しい気持ちでした。活動を終わってお届けできる髪の毛を目の前にしてより嬉しく思い満足感でいっぱいです！
- ・少しでも役に立てることがないかと思い参加して、ケアは大変だったけど、役立てるなら参加して良かったと思う
- ・何か役に立てるならやってみたいと思っていたので、今日の自分の活動が少しでも患者さんの役に立てたらいいなと思います
- ・この髪が患者さんの役に立てるなら看護学生として今できることなので行いたい
- ・髪が傷んでいたため、ケアをしっかりしようと心掛けました。活動を終え、ケアをしっかり行って良かったなと思いました。患者の役に立てれば嬉しいです
- ・自分の髪が患者さんの役に立つと思うと嬉しかったです
- ・最初は髪の毛を伸ばして提供するだけと思っていたが、活動中は髪の毛のケアが大変で嫌になってしまうこともあった。活動を終えて途中で辞めなくて良かった。患者さんの役に立てるといいなと思っている
- ・少しでも誰かを笑顔にしたいという気持ちが強くなった
- ・「やってみようかな」という軽い気持ちだったが、やり終えた今とても充実感がある
- ・「患者さんの力に少しでもなれば」という思いは変わらずあります。患者さんに笑顔があふれますように
- ・少しでも笑顔になってほしいという思いで髪を伸ばし続けた
- ・少しでも患者さんの役に立ちたいと思い参加させていただきました。今の自分でも力になれることはあると実感しました
- ・看護学生として患者さまの役に立てることはないかと考えながら参加したこの活動ですが、髪の毛のケア中「患者様にあげられるだけあげたい！だからできるだけ長くキレイに伸ばしたい」と患者主体の活動ができ良い体験でした
- ・本来であれば破棄になる髪の毛が、誰かの笑顔につながる可能性があると考え、活動中、活動後も、この企画に参加して良かったと感じています

Q.サポーター活動は、今後の看護職としての活動にどのように生かせると思いますか。（回答のあったもの）

- ・患者さんの気持ちを考えるということに関して活かせるのではないかと思います
- ・患者さんを「病気を持つ人」と捉えるのではなく、「地域で暮らす人」と捉え病の治療だけに目を向けるのではなく、生活していく上で必要になることはなにか、自分が患者さんにできることはなにかを考えながら看護をしていこうと思いき生かしていきたいです
- ・患者さんに対しての気持ち、これからの学びに活かしていきたいです
- ・患者さんの髪がないという苦痛は気持ちも理解できる点は多くあると思う
- ・脱毛になってしまった患者さんの気持ちを考えることができたため、その気持ちを忘れずに患者さんと接することに活かせると思う
- ・困ってる人へのアドバイスになればと思ってます
- ・治療によって髪の毛が生えてこないという患者さまの気持ちに寄り添う看護ができると思う
- ・髪を失うことの喪失感や女性にとって衝撃的できごとであり、心に大きな傷を負うことではあると思います。その患者さんが少しでも前向きに受けられるよう寄り添い患者さんらしさを取り戻せることを目標に看護していきたいです
- ・患者さんの気持ちを考えたり、患者さんに何か役立てることはないかと考えたり、患者さんに寄り添った看護をすることに活かせると思います
- ・看護は患者の安全、安楽を考えて援助を行っています。その中で、患者の思いや考えに寄り添った援助はこうしたサポーター活動も含めて、相手を理解しようとする心から生まれるものだと考え、これからの活動に活かしたいと思います
- ・相手の心に寄り添い相手の立場になり考えられるよう心掛けたい
- ・患者さんの気持ちを考える時に、サポーター活動のことを思いだして、患者さんの理解が深まると思います
- ・髪のことや悩むPtさんにこういった活動をしている場所があることやウィッグを使用することを提案できる気がする
- ・情報提供もでき、患者さんとの関りは活かせると思います
- ・女性にとって髪の毛を失うことはとても悲しいことであるため、その悲しさに寄り添えるような看護を行っていきたい
- ・ウィッグを必要としている、患者さんの気持ち寄り添える機会になりました。この活動が沢山のの人に伝わって欲しいです
- ・抗がん剤による副作用が患者さんにどのような影響を与えるか、患者さんの思いにより一層寄り添えると思う
- ・がん患者さんにウィッグを使用するという選択肢の提案ができると思うし、患者さんを想うケアに繋がると思います。外見がいかに影響しているのか考えるきっかけとなったし、この経験を活かして、患者さんの心のケアにも力を入れていきたいと改めて思うことができました・活動中は常に患者の気持ちを考えるようになりました。看護師は常に患者と接し患者の気持ちを考え寄り添う必要があるため、活かせると思いました
- ・何か自分にできることで患者さんの役に立つことがあるなら、今後も続けていきたい
- ・人の気持ちに寄り添う考える部分につながった
- ・抗がん剤治療を行う方に、この活動を紹介するときに、自分が寄付した時の気持ちなど説明できる
- ・患者さんの気持ちを考えながら髪を伸ばすことができました。今後もこの気持ちを忘れず患者さんの立場に立って寄り添える看護師になれるようにしたいと思います

Q.サポーター活動は、今後の看護職としての活動にどのように生かせると思いますか。(回答のあったもの)

- ・ガンで髪を失ってしまった人に、こういう活動があって、ウィッグを作れるということを伝えることができること
- ・髪というのは女性にとってとても大切なものであることを実感でき、患者さんの精神サポートをしたいと感じた
- ・ただケアをするだけでなく、こういった活動を通して患者さんの力になれたらいいなと思っています
- ・相手の気持ちに少しでも寄り添えるようになったと思います
- ・もし喜んでくれる人がいたら、こんな活動があり、日本全国にサポーターがいるということを伝えたりなど、患者さんに伝えられる助けになる話が増えました
- ・がん患者さんのことを知りたいという気持ちに繋がると思う
- ・がん患者さんの髪の毛に対する精神ケアに活かせると思います
- ・応募者がどのようなことを悩み、不安に思ったり、悲しい気持ちになっているか考える際に様々な視点を持つことができるようになった
- ・患者さんのことを考える時間は増えた
- ・患者さんがどうしたら喜んでくれるか、私になにができるのか日々考えることができました。看護師になってもこの気持ちを忘れず日々学んでいきたい
- ・脱毛で悩むがん患者さんに対して、ウィッグについて説明するときに「私も参加したことあるんですよ」と紹介することができると思いました。また、がん患者さんの脱毛について考えるきっかけになりました
- ・こういった活動があることをがん患者さんにお伝えでき、自分が参加して感じたことなどお伝えすることで何かサポートできることがあるのではないかと思います
- ・サポーターになったことでこのようなプロジェクトを初めて知ったので今後髪の毛で悩む患者に出会ったらこのプロジェクトを紹介してみたいです
- ・機会があれば実際にウィッグを使っている人に会ってみたい。少しでも役立てることや患者さんのためになることを考えていきたい
- ・こういう活動があるということを患者さんに教えることもできるのでこれから活かそうだと思いました
- ・乳がんについての理解が深まった
- ・患者さんの気持ちを考えることを学んだので活かせるよう努力したい
- ・この活動を行うことで、がんによる脱毛等を深く考えるようになりました。この気持ちを考えたことを忘れずに看護実習に活かしていきたい
- ・精神ケア、緩和ケアに活かしていきたいです
- ・“髪の毛を失う”1つのボディイメージの変化に対しても寄り添ってあげられるようにしていきたい
- ・誰かに寄り添うことの大切さや、人のために行動することの大切さを学び自分から積極的に行動していきたい
- ・がん患者に寄り添えると思う
- ・治療の影響で脱毛となってしまった患者さんや、その他の症状があり毎日頑張っている患者さんの思いに配慮した声かけに役立てると思う
- ・常に患者さんの笑顔や自信に繋がられるようになりたいと思えたこと
- ・がんで髪を失うことの不安な気持ちにより寄り添えることができると思う
- ・患者様の抱えている悩み、不安は何なのか考えながらコミュニケーションをとったり接し方を考える機会となった。また、学生の時から参加することで少しでも患者さまと繋がりを持ち考えることができ、その気持ち忘れず今後も勤めることができる
- ・学生の今でも役に立てる経験ができたので、今後も患者さんやそのご家族がより良い生活を送ることができる看護を深く考えていくことができると思いました
- ・患者さまの立場になって考える上で今回のサポーター活動を思い出し、何が今の自分には足りないのかと考えるきっかけになると思う

- ・心が軽くなったり、少しでも元気を与えられたりできたなら幸いです
- ・ウィッグを使うことで、みなさんの気持ちが少しでも明るくなれば嬉しいなと思っています
- ・私の髪がみなさんの力に少しでもなれると嬉しいです
- ・髪が役に立ってくれたら嬉しいです
- ・生活を楽しめるよう願ってます
- ・あまり長くなく微力ですが、患者さんの笑顔につながったら嬉しいです
- ・ウィッグで沢山笑顔になって過ごしていただけたら嬉しいです
- ・あなたは決して1人ではありません。あなたを支えたいと思ひ動く人が沢山います。無力ながら私もその1人です。共に乗り越えましょう
- ・ウィッグを通して患者さんが笑顔になっていただけたら、明るい気持ちになっていただけると嬉しいです
- ・病気によって大切にしていた髪を失ってしまうことで、治療だけでなく日常生活にも支障が出てしまうこともあると思います。是非ウィッグを使って一時でも楽しい嬉しい気持ちになってもらえたら嬉しいです
- ・微力ながら、お力添えすることができ、私自身も良い経験をさせて頂くことができ感謝の気持ちでいっぱいです！ありがとうございます！
- ・ウィッグで少しでも外に出る、お買い物に行く、おしゃれしたくなる…などと日々楽しい気持ちになっていただけると嬉しいです！！
- ・少しでも楽しい毎日になることを願っています
- ・喜んで頂けたら嬉しいです
- ・治療は辛く長期的ですが、ウィッグによって少しでも患者さんに笑顔が戻ることを祈ってます
- ・少しでもお役に立てたら嬉しいです
- ・毎日の生活を楽しんでほしいです
- ・ウィッグを使用していただいて、外出や生活が楽しいと感じてもらえたら嬉しいです。陰ながらではありますが、応援しています
- ・是非ウィッグを被って外にお出かけしてみてください。このウィッグで元気になれるよう祈っています
- ・心をこめてケアしてきたので、使って頂けるだけで嬉しいです
- ・少しでもお役に立てたら嬉しいです
- ・少しでも、治療の役に立てたら良いなと思っています。力になれば嬉しいです
- ・がんと闘う方に、少しでも勇気を与えられていたら嬉しいです
- ・自分の髪が役に立つことは本当に嬉しいです
- ・自分の髪で、少しでも人生や今後を明るく考えられるようになれば嬉しいです
- ・これできれいになってください！
- ・少しでも勇気になれば嬉しいです。素敵な日々を送れますように
- ・楽しく外に出かけてください

- ・長さはあまりありませんが、私の髪を通して、支えたいという思いが伝わると嬉しいです。辛い時は私のような陰ながら応援している人がいることを忘れないでください
- ・微力ではありますが、ウィッグを使っておしゃれを楽しんで治療の応援をしています
- ・ウィッグを使っていつまでも女性を楽しんで下さい
- ・学生の自分には分からないたくさんの思いや苦痛があるかと思いますが、私の髪の毛(ウィッグ)で少しでも、力になれば幸いです
- ・お友達やご家族と笑顔で過ごせる時間が増えると、私も嬉しいです
- ・私は実習に行くたび患者さんの笑顔に救われます。元気を貰えます。こんな私にも役に立てることができて、嬉しいです。患者さんにとって使いやすいものだったら嬉しいです
- ・がんの治療の中で悩みを抱えている中でも自分が提供した髪がウィッグとなり患者さんが少しでも元気になったり、外出するきっかけになったら嬉しいなと思います
- ・少しでも“幸せ”を感じていただけたら、私も幸せです
- ・少しですが、役に立てたら嬉しいです。明るい気持ちと笑顔になれることを祈っています
- ・少しでも日常が楽しく過ごせたらいいなと思いヘアドネーションをしました。辛いことも沢山あると思いますががんばってくださいね
- ・大切に使うてもらえると嬉しいです。早く元の生活に戻れますように
- ・前向きな気持ちで治療にあたり、社会復帰しましょう！
- ・少しでも笑顔になって頂ければ嬉しいです。楽しい人生を送りましょう
- ・少しでもあたたかい気持ちになってもらえるととても嬉しいです
- ・ウィッグが少しでも生きる活力に繋がると嬉しいです
- ・ウィッグを使って今までより少しでも笑顔になってもらったり、幸せと思ってもらえたら私はとても嬉しいです。絶対幸せになってください
- ・微力ですが、少しでも力になればと思います
- ・私の身内にもウィッグを使っている方がおられます。私はそのような方への力になりたいと思いこの活動に参加しました。少しでも幸せな気持ちになれることを願ってます。これからの看護師人生にこのような経験を活かしていけるよう考え続けていきたいと感じました
- ・少しでも笑顔が増えたり、自信に繋がれば嬉しいです
- ・ウィッグを使って少しでも明るい気持ちになってくれたら嬉しいです
- ・ウィッグですが、少しでもウィッグ感の少ない「地毛」だと感じる、温かさを感じていただきたいです。またこれによって「生きる」ことをサポートできれば嬉しいです
- ・私の髪の毛が、誰かの笑顔につながることをとても嬉しく思います。これから沢山おしゃれして楽しく生活していただけたらいいなと思っています
- ・自分の髪が少しでも患者様の役に立てるのであれば、これからも提供していきたいと思います。私の髪の毛で少しでも患者様が幸せな気持ちになれるように

医療機関での試着・贈呈を行う当プロジェクトのウィッグ贈呈活動は、新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、実施を見合わせました。看護学生の皆さまからご寄付いただいた髪の毛は、大切に保管し、2021年以降にお贈りするウィッグに使わせていただく予定です。